

あつま 社協だより

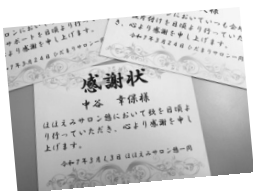


おめでとうございます！
白寿の年間最優秀賞！

社会福祉協議会が地域のボランティアとともに開催しているふれあいサロンでは、皆さんが参加するゲームでの交流もサロンの楽しみの一つとなっています。

3月に年間を通じて全参加者のゲームの得点を集計し順位をつけた結果、4地区の全サロン参加者の中から、豊川生活会館「あれこれサロン」参加者の小松岩雄さん（上野地区）が年間の最多得点を獲得し、最優秀賞に輝きました。

スタッフ手作りの賞状を手にとり笑顔の小松さんは数え年99歳の白寿。コツコツと重ねた得点は1年間元気にサロンに足を運んでくださった証でもあり、参加者やスタッフも小松さんの笑顔から元気をお裾分けいただいたひと時となりました。



いつもありがとう！

3月のふれあいサロンでは、各地区のサロン運営に協力いただいているボランティアさんにスタッフが作成した感謝状をお贈りし、日頃の感謝を表しました。

サロンの運営を支援いただいているボランティアの皆さん。毎月の会場の準備や片付け、買い物を担ってくださったり、体操やレクリエーションの企画や指導など、様々な経験を活かして誰もが楽しく参加できるサロンをつくってくださっています。

サロンの運営には日頃から地域の民生委員や自治会の役員、ボランティアなどの多くの関係者のご協力をいただいています。いつもありがとうございます。



発行者 社会福祉法人厚真町社会福祉協議会（〒059-1601 北海道勇払郡厚真町京町158番地）
TEL 0145-26-7501/FAX 0145-26-7655 /ホームページ <https://atsuma-shakyo.or.jp/>



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。



新年度の事業計画と収支予算

～厚真町社会福祉協議会～



厚真町社会福祉協議会の令和7年度事業計画及び予算について、3月19日の理事会及び27日の評議員会をにて決定いたしました。

新年度は町委託事業のうち、「高齢者共同福祉住宅L S A配置事業」が委託終了となるとともに、居宅介護支援事業所「ほのぼのライフケアあつま」を3月末で閉所することとなりました。令和7年度の法人全体の会計予算は90,875千円で、前年度の当初予算比で▲20,409千円としました。

多様な関係者と連携しながら地域の福祉課題の解決を図ることがますます重要となるとともに、社会福祉協議会としては事業の効果的な実施及び財政収支のバランスを図ることを喫緊の課題として取り組んでまいります。

【重点目標】

1. 福祉啓発育成事業の推進
2. 福祉関係団体等の活動支援
3. 地域福祉ネットワークづくり
4. 地域権利擁護体制の推進
5. ボランティアセンターの活動強化
6. 在宅福祉サービスの充実
7. 総合的な相談支援体制の強化
8. 介護保険事業所の運営
9. 福祉関係機関等との連携強化
10. 第5期地域福祉実践計画の策定及び推進
11. 社協の体制整備

■令和7年度資金収支予算

収入		支出	
科目	予算額	事業区分	予算額
会費収入	929,000	法人運営事業	40,651,000
寄附金収入	1,355,000	・法人本部 36,836,000	
経常経費補助金収入	40,935,000	・愛情資金事業 1,000,000	
受託金収入	26,518,000	・心配ごと相談所運営事業 96,000	
貸付事業収入	600,000	・生活福祉資金貸付事業 2,689,000	
事業収入	1,251,000	・日常生活自立支援事業 30,000	
介護保険事業収入	7,543,000	法人後見事業	4,097,000
受取利息配当金収入	10,000	共同募金配分事業	624,000
その他の収入	20,000	居宅訪問介護事業	12,588,000
積立資産取崩収入	11,714,000	高齢者生活自立支援事業	7,680,000
		人工透析患者等送迎サービス	5,474,000
収入合計	90,875,000	地域福祉事業	8,059,000
		重層的支援体制整備事業	11,702,000
		支出合計	90,875,000



「いきいきサポート事業」児童会館へ移転

社会福祉協議会が町から委託を受け実施している「いきいきサポート事業」について、4月1日から京町団地併設の施設から、社会福祉協議会が事務所を置いている厚真児童会館（京町158番地）で実施することとなりました。「昔、ここに娘を通わせていたんだよ」「ここで選挙の立会演説をしたなあ」などご利用者にも思い出の多い建物ですが、昭和40年に建てられ60年が経過する古い建物ですので段差など不自由な部分もあります。



「いきいきサポート事業」は介護保険制度で要支援や事業対象者となる方が対象の介護予防を目的とした事業ですので、手すりを準備しテーブルなどを配置して、少しでも利用しやすい環境をと手作りで工夫し、4月1日から児童会館にご利用者をお迎えすることができました。

新しい場所が変わってもご利用者からは「みんな一緒に安心だ」「これからも通ってきたい」と、心配されていた方も安心された様子でお仲間の会話に花が咲きます。いつまでもお元気でいられるお手伝いができるよう、スタッフ一同取り組んでまいります。

居宅介護支援事業所「ほのぼのライフケアあつま」の閉所について

厚真町社会福祉協議会が運営しておりました居宅介護支援事業所「ほのぼのライフケアあつま」は、令和7年3月末をもちまして閉所いたしました。この度は地域の事業環境を踏まえ法人経営の判断等により事業継続を断念することとなりましたが、ご利用者様をはじめ町民の皆様には大変急なご案内となり大変ご迷惑をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。

「ほのぼのライフケアあつま」は平成17年の開設以来、20年間にわたり運営してまいりました。多くの町民の皆様をはじめ関係者の皆様のご支援を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

参加者募集～身体障害者スポーツ大会・視察研修旅行

胆振身体障害者福祉協会厚真支部

胆振身体障害者福祉協会厚真支部では、7月5日（土）～6日（日）にかけて白老町で開催される第51回胆振管内身体障害者スポーツ大会への参加と視察研修旅行を予定しています。

厚真支部では町内在住で身体障害者手帳をお持ちの方やそのご家族など、身体障害者福祉協会厚真支部会員と一緒に参加いただける方を募集いたします。



令和6年度身障支部視察研修旅行にて

- ・日程 7月5日（土）～6日（日） 1泊2日
- ・内容 胆振管内身体障害者スポーツ大会（白老町）参加及び視察研修（洞爺湖町方面）
- ・対象者 町内在住で身体障害者手帳をお持ちの方やそのご家族、会の趣旨に賛同いただける方
- ・参加費 1人 15,000円（宿泊費・食事代含む）



※申し込み締め切り 6月4日（水）

【お申し込み・お問い合わせ】
胆振身体障害者福祉協会厚真支部
電話26-7501（社協内）

会員募集中！

胆振身体障害者福祉協会厚真支部（会員数23人、高橋眞理子支部長）は、障がい者の社会参加や相互の親睦を深めることを目的に活動している団体です。障がいを持つ会員や障がい者の社会活動を応援する賛助会員を募集しています。

年会費 2,000円
胆振身体障害者福祉協会厚真支部
電話26-7501（社協内）



「ごみ出し」や「除雪」、「移動」
どうされていますか？

高齢者の生活支援ニーズアンケート

厚真町社会福祉協議会では、令和7年1月から3月にかけて町内の概ね75歳以上の一人暮らし世帯を対象に、ゴミ出しや除雪、交通などの日常生活課題についてアンケートを実施いたしました。この度173世帯に調査協力をお願いし、社協職員が訪問させていただいて貴重なお話を伺うことができました。

アンケートを通じて把握させていただいた課題は、今後の事業や地域づくりに生かして取り組んでまいります。

厚真町社会福祉協議会福祉担当

2025年版が完成！

厚真町限定ご当地ピンバッジ 厚真町共同募金委員会

厚真町共同募金委員会では、このほど厚真町限定ご当地ピンバッジを製作しました。2025年のデザインのモチーフは、あつまると2羽の白いエゾフクロウです。

厚真神社に毎年のように仲の良い姿を見せてくれるエゾフクロウは、幸運と復興のシンボルとして親しまれています。

バッジは500円以上の募金に1個差し上げており、事務所での取り扱いのほかイベントや地域の募金活動でご案内しますので、多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。

厚真町共同募金委員会（電話 26-7501）



生活や就労などの総合相談窓口 いぶりサポートセンター

お仕事や生活の悩み・不安をお持ちの方々のための総合相談窓口です。



相談の秘密は厳守されますので安心してご相談ください。

いぶりサポートセンター
電話：0143-84-9262
（相談無料）

住所 室蘭市中央町3丁目5-13
SK室蘭中央ビル5F

ご寄附

■社会福祉協議会へのご寄附 (令和7年2月26日～3月31日 ご芳名は同意をいただいた方のみ掲載しています)

米澤 英里子 様 (美里) あつま門別会
池田 好彦 様 (厚和) 会長 松平 功 様 (高丘)
大垣 良昭 様 (豊沢) 北海道厚真高等学校3学年 様 (本郷)
横山 長子 様 (富野) 真正寺佛教婦人会 様 (表町)
山口 幸子 様 (鹿沼) 厚真町商工会女性部 様 (京町)

温かい善意に感謝申し上げます 合計 418,728円 (9件)



3/28 厚真町商工会女性部 様

■物品等のご寄附

あつまっふる 様 (本郷) 車椅子1台 ※能登半島地震被災地への支援として預託／米澤英里子様 (美里) タオル30本、介護用オムツ／北海道石油共同備蓄(株)北海道事業所様 (苫小牧市) ペットボトルキャップ (45kg)・リングプル (6kg)／明治安田生命保険相互会社苫小牧支社千歳営業所様 (千歳市) リングプル (26.6kg) ・ペットボトルキャップ (29.3kg)／匿名 (1件) リングプル (134g)、ペットボトルキャップ (158g)



3/24 明治安田生命保険相互会社苫小牧支社千歳営業所様

リングプル収集で被災地支援 車椅子を石川県・能登町へ

■ 能登半島地震の被災地へ

ボランティア団体あつまっふる (高橋康夫代表・本郷) が、このほどリングプル収集等の活動を通じて車椅子1台を社会福祉協議会へ寄贈されました。

3月13日に社協事務所で、リングプル収集等に協力されてきた北海道石油共同備蓄株式会社と苫東石油備蓄株式会社の関係者が臨席されるなか贈呈式が行われました。

「ご協力いただいた多くの方々に感謝をお伝えしたい。厚真町も地震の際に多くの支援をいただいた。その恩返しとして被災された能登町の方々の役に立てて欲しい」と挨拶された高橋代表。厚真町社会福祉協議会へ預託された車椅子は、能登半島地震で被災された石川県・能登町の社会福祉協議会へお送りいたしました。

■ 26年間に寄贈した車椅子は12台

あつまっふるは平成10年10月に活動を開始し26年間にわたって寄贈してきた車椅子は12台に上ります。寄贈先は厚真町をはじめ安平町やむかわ町の施設や社会福祉協議会などのほか、東日本大震災や北海道胆振東部地震などの災害に際しても、被災地へ車椅子の寄贈を通じて被災者支援を続けられてきました。

この度車椅子をお送りした能登町をはじめ、地震災害により被災された地域の皆様の一日も早い復興を願うばかりです。



3/13 リングプル収集の協力関係者を交えての贈呈式



集まったリングプルの山からスチール等などの不純物を、磁石などを用いながら手作業で丁寧に取り除くボランティアの皆さん。

車椅子1台を寄贈するためには写真の3倍以上のリングプルが必要になります。